

PDP 教育関係共同利用拠点提供プログラム

Series 3 学生を支援する

大学教育改革において話題のポートフォリオ。このポートフォリオを大学生の学習支援において活用する取り組みが各大学で開始されています。とりわけ、修学ポートフォリオは省察を通して学生の自己評価力を育み、学士力の涵養を図る形成的評価ツールとして近年、脚光を浴びています。ポートフォリオのそうした可能性を理解し、有益な活用法を検討するという観点から、ポートフォリオ研究の第一人者である土持ゲーリー法一氏、山形大学のポートフォリオ導入企画に関わった松田岳士氏、東北大学の修学ポートフォリオを企画しその運営に携わっている田中仁氏によるセミナーを開催いたします。

■開催日：

2012年 **1**月**6**日(金)
13:30～16:00

■場 所：東北大学川内北キャンパス
マルチメディア教育研究棟
6階M601

■コード：学習指導法[S-01]・学生論[W-01]

■対象：院生○ 新任◎ 中堅・リーダー◎
職員△

参加無料 当日参加可

下記セミナーへも是非ご参加ください 

Series 3 学生を支援する

【学生支援 基礎編2】
大学生への経済支援のあり方と課題
【開催日】2012年1月30日(月) 13:30～

【学生支援 基礎編1】
学びを支える大学の役割
【開催日】2012年2月20日(月) 13:30～

教師をつなぐ新たな世界 ポートフォリオが開く学生と



講 師 お よ び 演 題

ポートフォリオとは何か ～学士力涵養に向けた射程～

帝京大学教授 土持ゲーリー法一

ポートフォリオは、リフレクション(省察)、コラボレーション(共同作業)、そしてドキュメンテーション(証拠資料)の3つから構成される。これは、学生が学習プロセスを振り返り、コンセプト・マップを描きながら学びを深めるもので、学生と教員の「共同作品」である。「学士力」に求められる資質はポートフォリオで涵養できる。

東北大学工学部の ポートフォリオによる修学指導

東北大学教授 田中 仁

大学教育の評価には、かつてのインプット/アウトプット評価に代わり、教育の達成度を評価軸として用いることが求められている。そのために、学生へのアンケートや各種資格試験合格者数などを用いる試みもなされているが、多様な学生の活動と達成度指標との関係を判断することは困難であることが多い。ここでは、東北大学工学部において実施しているポートフォリオ(学習等達成記録簿)を活用した修学指導の取り組みを紹介する。

山形大学における 教師と学生をつなぐeポートフォリオ

島根大学准教授 松田 岳士

山形大学で導入されているeポートフォリオの特徴を3つの視点から紹介する。第1に、従来の修学指導活動をどのように支援するかという設計思想、第2にカリキュラム改革の一環としての位置づけと結果としてのカリキュラムポリシーの可視化、第3に、普及のためカスタマイズ方法である。

参加申込み方法 Webから申込みいただけます。 ※行事カレンダーからお進み下さい。

<http://www.he.tohoku.ac.jp/> 東北大学高等教育開発推進センター 検索

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、pffp_office@he.tohoku.ac.jpまでお申込みください。

お問い合わせ

東北大学高等教育開発推進センター
大学教育支援センター
TEL.022-795-4471 Email.pffp_office@he.tohoku.ac.jp